

事業名【担当課】

地域共生社会推進事業【地域共生推進課】

外部評価実施者からの意見

重層的な支援の必要性を理解することができたが、複合的なかわりを対象としているため、どうしても事業に分かりづらさはあるように思えた。他機関との小まめな連携による情報収集や、ネット等を用いた現代版の相談箱のようなものの設置、手助けの必要な世帯へのアンケートの実施など、声を聞く試みを継続してほしい。

曼荼羅チャートを活用しての課題整理とアイデア出しは良いと思うが、曼荼羅チャートをもっともっと広げていき真因を追及していくことが重要であると思う。

市長直轄組織として、限られた人員で広範な業務を担当する難しさがあると思う。社会福祉協議会やまちづくり協議会などの各種団体と連携を密にして、それぞれの役割を明確にし重複業務等を極力排除しながらの業務効率化が必要と思う。

本事業の目的である「…役割と居場所があり、…全力で守られること。」について、「役割と居場所があり」とは、具体的に言うとなにか、また「全力で守られる」とは、何がどのように守られるのか等々、例示を挙げるなどして、もう少しはっきり示してもらわないと、観念的なものになってしまい、具体的な行動に結びつきにくいのではないかと思います。

## 地域共生社会推進事業【地域共生推進課】

また、重層的支援体制についても、市内部の各部署において、様々に対応している現状であると思います。これら関係部署との緊密かつ適切な連携があってこそ結果が出ると思うので、今まで以上に十分な連携を図って頂きたいと思います。

社会福祉協議会に業務委託している感がありましたが、市の行政職員と福祉専門職の各々の立場を活かし協働し支援体制に取り組んでいるとのこと、理解できました。

事業実施上の重要視点の曼荼羅チャートの励行を願います。

### 担当課対応状況

ご意見いただいたように、重層的支援体制整備事業の中で、多機関との連携促進や、職員が地域に入り直接市民の声を聞く体制を継続していきます。また、助けが必要だが声を上げられない世帯にアウトリーチするため、8050世帯等実態把握訪問調査を実施しています。

本事業の推進にあたり、課内の目線合わせのため、1月にも再度曼荼羅チャートに取り組みました。

ご指摘のとおり、多様な主体に対し、本事業の目的を分かりやすく情報発信していく必要があると考えています。引続き、まちづくり協議会などの団体との顔のみえる関係づくりに取り組み、連携を図っていきます。